

花で彩る沿線周遊イベントを初開催！

「花手水まちなめぐりプロジェクト2026」がスタート

令和8年10月28日(水)から、狛江市・多摩市・相模原市による観光連携事業として、小田急沿線の魅力発信と沿線自治体間交流による関係人口の創出を目的とした「花手水まちなめぐりプロジェクト2026」を開催します。本市中央区でも実施している「花手水」を地域の魅力発信コンテンツとして活用し、期間ごとに展示場所を入れ替え、花とまちの魅力に触れながら周遊を楽しむデジタルスタンプラリーとフォトコンテストイベントとなります。

1 イベント概要

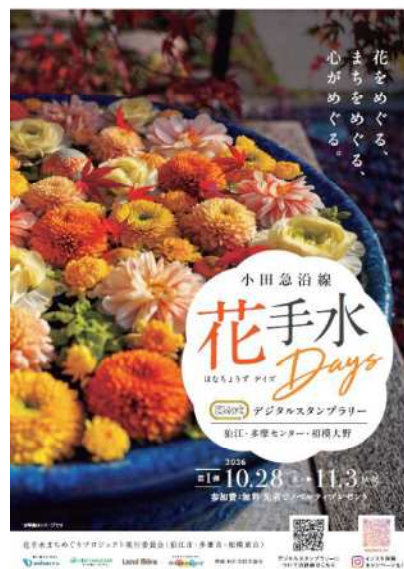
(1) イベント名

小田急沿線「花手水Days」
EMotデジタルスタンプラリー
～狛江・多摩センター・相模大野～

(2) 実施期間

第1弾: 令和8年10月28日(水)から11月 3日(火・祝)まで
第2弾: 令和8年11月 9日(月)から11月15日(日)まで
第3弾: 令和8年12月14日(月)から12月20日(日)まで

(3) 花手水及びデジタルスタンプラリースポット



	狛江市エリア	多摩市エリア	相模原市エリア
第1弾	むいから民家園	多摩中央公園 旧富澤家	相模大野ボーノ広場
第2弾	狛江市役所 正面玄関前	多摩市立グリーン ライブセンター	相模大野中央公園
第3弾	泉龍寺	ココリア多摩センター	オーノクロス広場
各期間 共通	狛江駅改札前 広場	小田急マルシェ 多摩センター前	小田急ステーションスクエア アトリウム広場

(4) デジタルスタンプラリー及びフォトコンテストの参加方法

【デジタルスタンプラリー参加方法】

- ① 花手水スポットを見つける。(特設サイトからスタンプ帳をゲット！)
- ② 花手水スポットにあるスタンプ取得用二次元コードを読み取り、スタンプをゲット
- ③ デジタルスタンプラリーを集めて、オリジナルノベルティをゲット

【フォトコンテスト参加方法】

まちをめぐりお気に入りスポットで写真を撮り、Instagramで「#花手水まちめぐり」を付けて、「花手水Days公式アカウント」をタグ付け投稿 ※参加方法の詳細は二次元コードをご確認ください。



デジタルスタンプ
ラリー詳細ページ



SHANACHOUZU_ODAKYU

花手水Days
公式アカウント

(5) 参加特典

- ・ スタンプラリー参加者の中から先着で、小田急電鉄子育て応援キャラクター「もころん」ステッカー1枚と日比谷花壇の対象店舗※でお好きなお花1本のセットをプレゼント
- ・ フォトコンテスト参加者の中から抽選で、小田急電鉄子育て応援キャラクター「もころん」ぬいぐるみをプレゼント

※お渡し店舗は、Hibiya-Kadan Style 狛江店、小田急マルシェ多摩センター店、相模大野ステーションスクエア店の3店舗となります。



【花手水イメージ(中央区で実際に展示された花手水)】

2 その他

- ・ 各市の魅力的なスポットのほか、3駅周辺で開催される各地域のイベント情報もInstagram花手水Days公式アカウントで発信
- ・ 花手水Daysに関する情報は、小田急電鉄全70駅及び中吊り広告でも発信

問合せ先

市長公室政策部観光政策課

電話 042-769-8236

【ご挨拶】

小田急線でつながる3市は、都心から30分圏内という利便性を有するとともに、それぞれが豊かな自然、魅力ある商業環境、個性ある地域資源に恵まれた住宅都市です。

本取組は、小田急電鉄株式会社様及び株式会社日比谷花壇様を中心に各社のご協力のもと、その沿線3市が、都市空間に彩りを添えた”花手水”をきっかけに、駅を起点に地域へ足を運んでいただくものです。各市の魅力をより多くの皆様に知っていただくとともに、まちの認知度向上、沿線地域の回遊促進、地域の活性化につなげていきたいと考えております。

また、小田急沿線の駅を中心とした都県を越えた自治体間の観光連携事業は、今回が初めての取組となります。小田急電鉄株式会社様が来年4月に開業100周年という大きな節目を迎えられる中、このような新たな取組を開始できることは、沿線自治体間の交流を深め、地域全体の魅力向上や活性化につながる大変意義深いものと考えております。

各市には、それぞれ特色ある魅力があります。狛江には、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や古墳等の歴史的な地域資源に加え、地域に根差した商店や暮らしの中で温かさを感じられる、自然と人々の営みが調和したまちの魅力があります。多摩センターには、公園やエンターテインメント、商業施設など自然と都市機能が調和したまちの魅力があります。また、相模大野には、駅周辺に活気ある商業施設があることに加え、花と水と緑がテーマとなっている相模大野中央公園もあり、都市と自然がベストミックスしたまちの魅力があります。

本事業を契機として、市内外のより多くの皆様に3市を訪れていただき、花の魅力を楽しみながら、それぞれの地域の魅力を発見し、実際にまちを歩いて体感していただきたいと考えております。

狛江市長
松原 俊雄



多摩市長
阿部 裕行



相模原市長
本村 賢太郎

